

愛臨技學術部研究班活動報告書

所属：一般検査研究班 提出日：2020年2月20日 報告者：鈴木 康太

行事種別	研究会	行事番号	190010630	
開催日	2020年2月8日（日）			
時 間	開 始	15時00分	終 了	17時30分
場 所	名城病院 地下大講義室			
テーマ	愛臨技精度管理事業報告会一般検査部門～一般検査の精度管理今昔～			
生涯教育履修点数	基礎教科 20 点			
司 会	特定医療法人衆済会 増子記念病院 平田 弘美 JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 鈴木 康太			
講 師	<p>1. 愛臨技一般検査部門精度管理報告会 特定医療法人衆済会 増子記念病院 平田 弘美 藤田医科大学病院 長瀧 和子 公立西知多総合病院 服部 聡 JA 愛知厚生連 稲沢厚生病院 蜂須賀 大輔</p> <p>2. 一般検査の経験から見えたもの、感じたもの 名古屋第二赤十字病院 安土 みゆき</p> <p>3. 一般検査に携わって得たもの ～26年のあゆみの中で～ 公立西知多総合病院 加藤 節子</p>			
内 容	<p>講義1では2019年度の一般検査部門の愛知県臨床検査技師会精度管理報告が行われた。尿定性・便潜血検査の精度管理について各施設良好な結果であった。尿の半定量での評価はメーカー毎に半定量値に違いがあるため、その評価方法について今後検討する必要があった。また、便潜血検査についても今後は液状検体の使用も考慮して検討していきたいとの内容であった。また、フォトサーベイについては、評価対象外となった髄液について詳しく説明した。</p> <p>講演2・講演3では名古屋第二赤十字病院の安土技師と公立西知多総合病院の加藤技師に講演頂いた。両講師は長年一般検査に携わって来た経験や自施設での尿沈渣の教育や昨今の働き方改革に対応すべく検査室の運用などの講演を頂き、他施設の運用や比較的どこの病院においても人の入れ替わりの多い一般検査領域の人材育成や他部門との連携について有益な情報が得られた。</p>			
参加者	総数：69名（会員 67名、県外会員 1名、非会員 0名、賛助会員 1名、学生 0名、その他 0名）			
共催、後援など				